

尾花沢市統合小学校建設工事設計業務公募型プロポーザルにかかる質問及び回答

回答日：令和5年5月22日

No.	種類	質 問	回 答
45	技術	質問No.11に対し、「完成年月日が平成25年4月1日から令和5年4月24日の業務が実績の対象です。」とご回答いただきましたが、様式6・7には、業務完了年月日のみで、完成年月日の記載欄がありません。完成年月の欄は建物の完成と捉え、設計の業務完了年月日は平成25年4月1日以前となっても宜しいでしょうか。	質問No.11の回答、「完成年月日が平成25年4月1日から令和5年4月24日の業務が実績の対象です。」の完成年月日は、設計業務の完了年月日です。紛らわしい表現となり申し訳ありませんでした。設計業務の完了年月日が平成25年4月1日から令和5年4月24日までの業務が実績の対象となります。
46	技術	実施要領P7事業の概要(4) 校舎棟は3階建とありますが、2階建の提案は可能でしょうか。	尾花沢市は豪雪地帯のため過去の平均最大積雪深が172cmとなっており、屋根雪の除排雪に大変苦慮しています。そのため、屋根の面積が小さくなるように3階建てを選択しています。2階建てで維持管理費が少額で屋根雪の対策が可能な提案であれば可能です。
47	技術	基本構想・基本計画P34 5. 構造計画(2) 屋内運動場は切妻屋根とありますが、落雪屋根を想定されているのでしょうか。陸屋根等他の形式の提案は可能でしょうか。	No.46同様、屋根雪対策を考え、大空間となる屋内運動場の屋根には雪を積もらせないように切妻屋根を採用したいと考えています。また、傾斜の緩い屋根の体育館の場合、寒さの続く時には積雪量が増え寒気がゆるんだ時に大量の雪が落下します。その際に飛び散った雪とその雪圧により建物や駐車車両等を破損してしまいます。最悪、重大な人身事故につながります。さらに、機械による屋根雪の除雪作業では屋根を傷つけることがあり、人力作業とした場合には高齢化する建設業者にとって重労働となります。陸屋根等他の形式であっても、維持管理費が少額で屋根雪の除排雪対策と落雪対策が可能な提案であれば可能です。
48	技術	ここ数年の既存学校施設(校舎・体育館)や市庁舎の屋根・屋上の雪下ろしの状況(範囲や回数、機械(除雪機)・人力)を教えてください。	既存学校においては、2校の校舎・屋内運動場と1校の校舎を除雪機、2校の校舎と1校の渡り廊下を人力により年1回雪下ろしをしています。屋根の傾斜により機械と人力を区別しています。 市庁舎においては、屋上の雪下ろしはしていませんが、3つの出入り口の付近にある庇は人力で年3回程度の雪下ろしをしています。
49	技術	職員数を教えてください。	約60人を想定しています。
50	技術	地域交流ホール、PTA室・地域活動室は、常時開放の考えでしょうか。	各室については、地域あるいはPTAの利用希望のある場合に開放する考えです。
51	技術	【実施要領】9.事業の概要(4)建物等規模・構造①校舎棟約6,250㎡とあります。【基本計画】P26 4.諸室計画の内容(5,048㎡)とつき合わせると、必要諸室面積に比べて共用部の面積が極端に少ないと感じます。一般的な学校建築の延床面積における共用部(昇降口・廊下・階段・トイレ等)の割合は40～50%程度となっており、40%だとしても8,000㎡程度と想定されます。計画面積の条件等について今一度ご教示ください。	普通教室に隣接する廊下は多目的スペースとの兼用となり、玄関ホールは地域交流ホールを考えています。また、大階段、児童用・来客教職用トイレについては計上しています。 国庫補助対象となる必要面積は約6,250㎡となり、これを超えた部分は全額市費となるため、できる限りこの面積に近い延べ床面積を考えています。共用部による圧縮については、事業費を勘案しながら基本設計の中で検討していきます。
52	技術	ピロティ職員駐車場とランニングコースの面積は計画面積に含まれないと解してよろしいでしょうか。	ピロティとギャラリー兼ランニングコースは計画面積に含まれないものです。
53	技術	予定する教職員数をご教授ください。	No.49と同様です。
54	技術	中学校の敷地に計画予定の駐車台数をご教示ください。	まだ計画していません。

尾花沢市統合小学校建設工事設計業務公募型プロポーザルにかかる質問及び回答

回答日：令和5年5月22日

No.	種類	質 問	回 答
55	技術	小学校と中学校それぞれの想定される教職員数をご教授ください。	教職員数は小学校約60人、中学校約25人程度を想定していますが、中学校については建設時期により変動します。
56	技術	様式10の構成について、課題1.2は相互に関連する課題と思われ、かつ課題1の提案内容は多岐にわたるため、2枚のA3用紙にそれぞれの課題のボリュームに対応した記載を認めていただけないでしょうか。	質問にあるとおり特定課題1は5つの内容が含まれ多岐にわたっているため、課題1についてはA3用紙2枚の使用を認めます。
57	技術	令和5年5月10日一部更新版質問回答書のNo.2に3,000㎡以上の実績は「1棟あたりの延べ床面積が3,000㎡以上」とありますが、単一発注設計業務で設計されて、渡り廊下等で接続された建築基準法上別棟扱いとなっている複数の棟を1棟とみなしてよろしいでしょうか。（例えば渡り廊下で接続された校舎棟と体育館、合計3,000㎡を一括で設計した場合）。	建築基準法上一棟となる一棟当たりの延床面積が3,000㎡以上の学校教育法に規定する学校施設の設計を実績とします。
58	技術	中学校のグラウンドは中学校敷地地内に別途必要という考えでよろしいでしょうか。それとも小学校グラウンドと併用する考えでしょうか。	中学校のグラウンドは小学校とは別に必要と考えていますが、中学校の敷地に限ったものではなく、小学校の敷地あるいは、小中学校の敷地をまたぐ配置であっても、建物及び全体的な配置を考え小中学校が相互に利用しやすいものを提案してください。
59	技術	中学校の駐車台数の想定を教えてくださいいただけますでしょうか。	まだ計画していません。
60	技術	ランチルームは毎日1つの学年が利用する想定でしょうか。それともイベント時の利用想定でしょうか。	ランチルームは毎日の利用ではなく、家庭科の調理授業時、園児、中学生、地域住民との会食や交流など、各種イベント開催時の利用を想定しています。
61	技術	駐車台数200台のうち、職員用の台数の想定があれば教えてくださいいただけますでしょうか。	屋内運動場のピロティを職員のメインの駐車場とし、そこで不足する台数を屋外駐車場に駐車する考えです。
62	技術	中学校のグラウンドの広さの想定と、その他の屋外施設（テニスコートなど）の想定をご教授ください。	中学校のグラウンドは300mトラックを想定しています。その他の屋外施設としては、野球やサッカーができる多目的なグラウンドを想定しています。